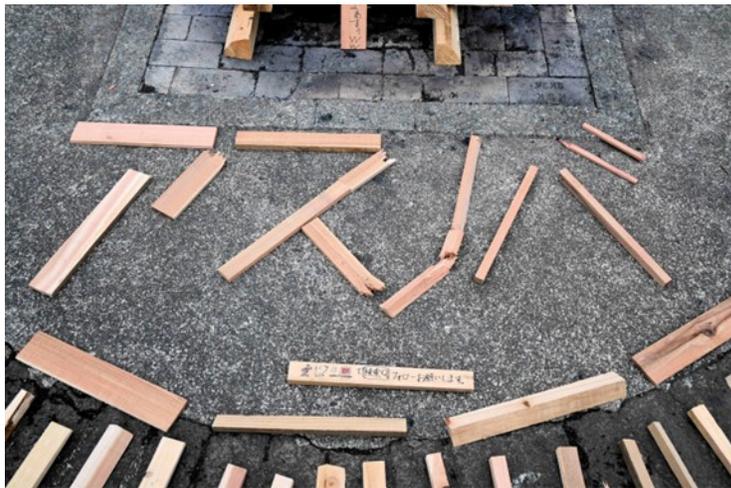
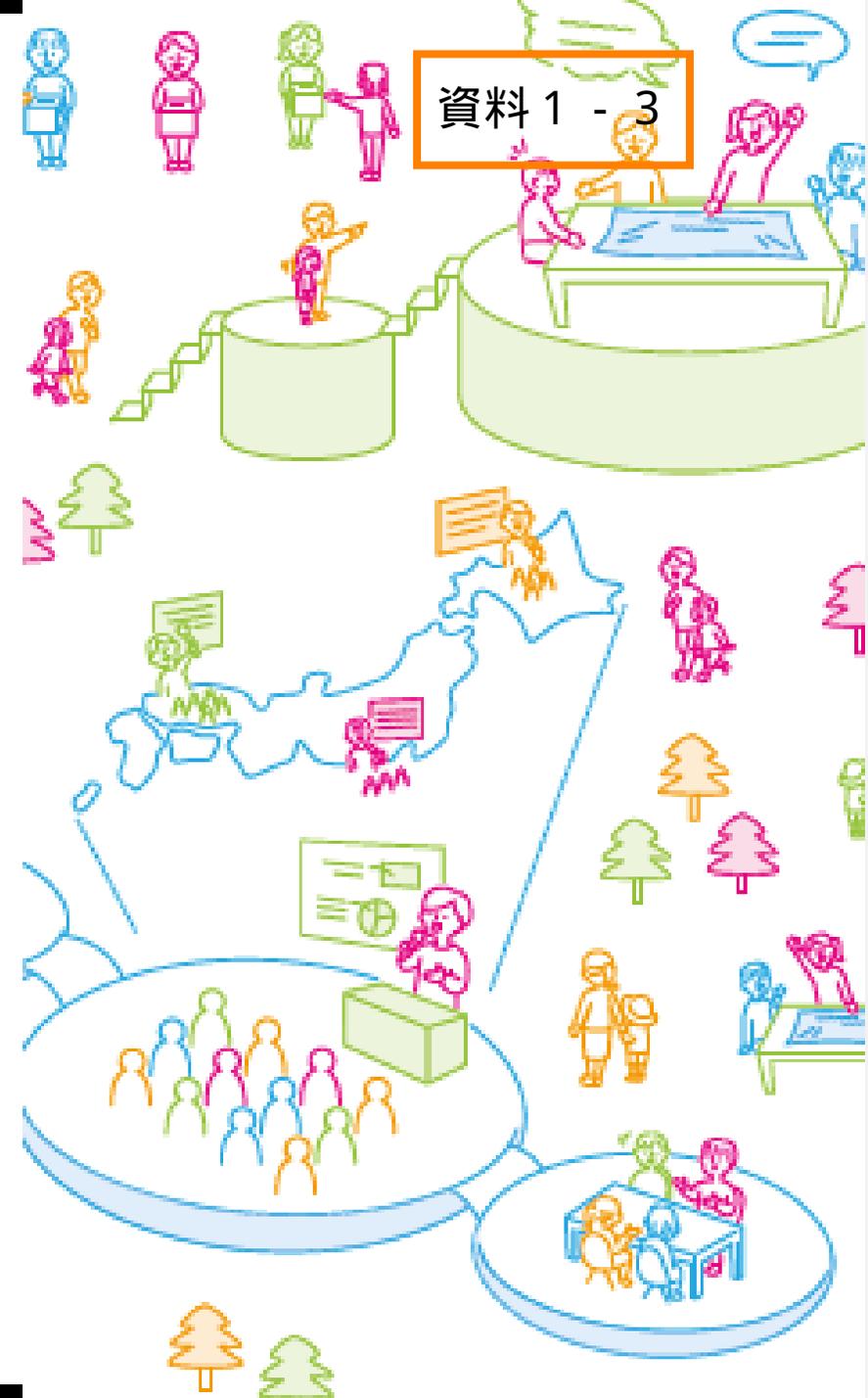




非日常の合宿・キャンプの重要性 —日常的なこども支援の拠点を—



子どもの貧困対策センター
公益財団法人 あすのば
代表理事 小河光治



資料 1 - 3

「子どもの貧困をなくす」民間センター 設立から8年



子どもの貧困対策センター 公益財団法人あすのば 事業概要
「子どもがセンター」の活動 おかげさまで発足8年

「子どもの貧困対策法」成立から2年を迎えた2015年6月19日に、子どもの貧困対策センター「あすのば」が設立され、2016年4月に公益財団法人として認定。おかげさまで、今年6月に発足から満8年を迎えました。

＜子どもの貧困対策センター あすのば 事業の3本柱＞

「政策提言」

調査・研究による
データなどに
基づいた
政策提言

「支援団体への中間支援」 「子どもたちへの直接支援」

活動の持続・
発展のため
支援団体への
中間支援

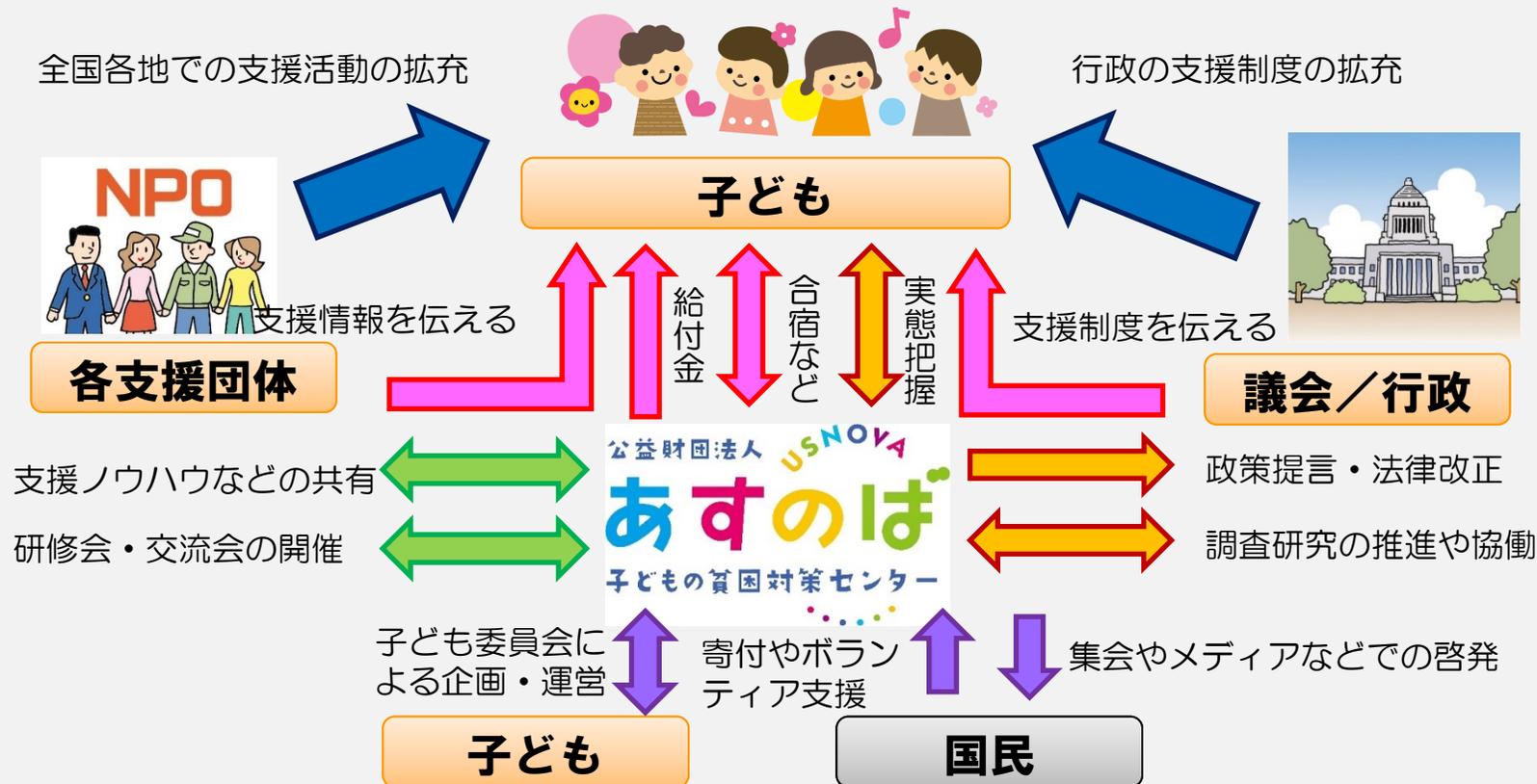
物心両面での
子どもたちへの
直接支援



子どもの貧困対策センター 公益財団法人 あすのば

子どもの貧困がなくなる社会をつくるため

- ① 調査研究をし、それに基づいた政策提言・法律改正をすすめる
- ② 子どもを支える組織や人を支え、全国各地で充実した支援体制の確立
- ③ 子どもの自立に向け、物心両面での子どもたちへの直接支援



【①調査提言】実現した主な政策提言など

- 超党派の「子どもの貧困対策推進議員連盟」発足(2016年)
- ひとり親世帯への児童扶養手当の2人目以降の加算額倍増(2016年)
- 就学支援「入学準備金」前倒し支給の普及、大幅な増額(2019年)
- 子どもの貧困対策法改正とその大綱改定(2019年)
- 未婚・非婚のひとり親などへの公平な税制の実現(2019年)
- 低所得世帯の子どもの高等教育の無償化(2020年～)
- コロナ禍「ひとり親世帯給付金」(2020年)
- コロナ禍「低所得ふたり親世帯給付金」、「子育て世帯給付金」(2021年)
- こども基本法・こども家庭庁設置法の成立(2022年)



【①調査提言】子どもの貧困対策法成立10年 院内集会

子どもの貧困対策法の成立から満10年を迎えた2023年6月19日、参議院議員会館講堂で子ども・若者の貧困対策に取り組む16団体が主催し、超党派の「子どもの貧困対策推進議員連盟」が共催する院内集会「困難を抱える子ども・若者への恒久的な施策拡充を!」を開催。永岡桂子・文部科学大臣、田村憲久・子どもの貧困対策推進議員連盟会長(元厚生労働大臣)はじめ与野党37人の国会議員、渡辺由美子・こども家庭庁長官を含め120人が出席、オンライン参加231人をあわせて351人が参加。

【主催】あすのば／アフターケア事業全国ネットワーク えんじゅ／キッズドア／自殺対策支援センター ライフリンク／自立生活サポートセンター・もやい／しんぐるまざあず・ふおーらむ／シングルマザーサポート団体全国協議会／セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン／全国こども食堂支援センター・むすびえ／全国子どもの貧困・教育支援団体協議会／全国食支援活動協力会／D×P 豊島子どもWAKUWAKUネットワーク 「なくそう!子どもの貧困」全国ネットワーク 日本若者協議会／ひとり親支援協会 (50音順・法人格略)



【②中間支援】全国キャラバン レベルアップ研修会

- 子どもの貧困対策全国47都道府県キャラバン(全都道府県で開催)
都道府県の共催・後援で民間の支援団体とともに
フォーラムなど開催
- レベルアップ研修会の開催(2017年、2018年、2019年、2023年)
全国で活動する子ども・若者支援団体の支援者を対象とした
3日間の合宿研修会を開催



【②中間支援】全国支援団体合宿集会2022

子どもの貧困対策 全国支援団体合宿集会2022 プログラム

	2月24日(金)	2月25日(土)	2月26日(日)
9:00			
9:30			
10:00			
10:30		「いかに基礎自治体で施策を拡充していくか」 ・泉房穂さん(明石市長) ・清原慶子さん(内閣官房子ども家庭庁 設立準備室政策参与、前三鷹市長) コーディネーター:中塚久美子さん (朝日新聞記者)	「いかに子どもの声を聞いていくか」 ・西崎萌さん(セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン) ・幸重忠孝さん (子どもソーシャルワークセンター理事長) ・あすのばに関わる若者 コーディネーター:室橋祐貴さん (日本若者協議会代表理事)
11:00			
11:30		昼食	昼食
12:00			
12:30			
13:00	参加者受付	「アウトリーチ論」 ・谷口仁史さん (スチューデント・サポート・フェイス代表) ・徳丸ゆきこさん(CPAO理事長) コーディネーター:能島裕介さん (尼崎市理事・教育次長)	「モデルとなる政策領域に学ぶ」 ・清水康之さん(ライフリンク代表) ・対談 清水さん×小河
13:30	開会式		
14:00			
14:30	基調講演 村木厚子さん (内閣官房孤独・孤立対策担当室政策参与)		
15:00		「子どもの居場所のいま」 ・李炯植さん(Learning for All代表理事) ・近藤博子さん(だんだん代表) ・田口吾郎さん(いるか代表理事) コーディネーター:川邊笑さん (うみのこてらす設立者・運営者)	閉会式
15:30			
16:00	講演 自見はなこさん (参議院議員・医師)		
16:30			
17:00	パネルディスカッション 自見はなこさん 村木厚子さん コーディネーター:榊原智子さん (子どもと家族のための緊急提言プロジェクト 事務局長)		
17:30			
18:00			
18:30			
19:00		夕食(お弁当) ご自由にお過ごしください。	
19:30			
20:00	懇親会		
20:30			



【③直接支援】入学・新生活応援給付金

- 対象 生活保護世帯、住民税非課税世帯等、社会的養護下の子どもで、小学校入学、中学校入学、中学校卒業、高校卒業等
- 給付額 小学校入学生・中学校入学生＝3万円、中学校卒業生＝4万円、高校卒業等＝5万円(災害特例はそれぞれ1万円増額)

● 給付実績

	一般		災害特例		合計	
	人数	総額	人数	総額	人数	総額
2015年度	198	7,790,000	0	0	198	7,790,000
2016年度	2,159	85,100,000	97	4,870,000	2,256	89,970,000
2017年度	2,803	110,970,000	4	180,000	2,807	111,150,000
2018年度	1,756	70,060,000	12	630,000	1,768	70,690,000
2019年度	1,982	78,370,000	5	230,000	1,987	78,600,000
2020年度	2,945	118,420,000	11	480,000	2,956	118,900,000
2021年度	2,481	97,790,000	2	80,000	2,483	97,870,000
2022年度	2,977	115,820,000	2	120,000	2,979	115,940,000
合計	17,301	684,320,000	133	6,590,000	17,434	690,910,000
2020年度	コロナ禍緊急支援給付金				4,995	187,250,000
合計	(上記緊急支援給付金含む)				22,429	878,160,000



【③直接支援】合宿ミーティング 合宿キャンプ

- 高校生・大学生世代対象の「合宿ミーティング」開催(夏休み3日間)
今年8月には、子どもの貧困対策に取り組む意欲のある
高校生・大学生ら20人が全国各地から参加し3日間の合宿を開催
- 小学生・中学生とその保護者対象の「合宿キャンプ」開催(春休み3日間)
入学・新生活応援給付金を受けた小・中学生らとその保護者対象の
キャンプを開催。



非日常の合宿・キャンプで大切にしていること・成果など

- 参加者・スタッフの**経済的負担ゼロ**(交通費・食費・宿泊費など)
→お金がなくても旅ができる、自然体験などをあきらめなくてもよい
- 「**子どもがセンター(ど真ん中)**」での企画・運営に徹する
→大人の役割は、参加者の安心・安全の確保、お金の管理など
- 非日常の場所で3日間、寝食を共にすることの意味**
→初対面でも心を開放しやすく、本音で語り合える場に
- 小・中学生は、高校・学生世代のスタッフと一緒に生活する意味**
→日常で甘えたくても甘えられない子どもたち、ナナメの関係
- 高校・学生世代は、自身や同世代の抱える課題の社会化へ**
→大人の顔色をうかがうことのない意見表明へ
- 合宿・キャンプでのつながりが日常生活の支え、内発的な自助に**
→孤立感の減少、全国各地オンラインでも交流

院内集会「困難を経験した子ども・若者の意見に耳を傾けるつどい」

3月16日夜、院内集会「困難を経験した子ども・若者の意見に耳を傾けるつどい」を参議院議員会館で開催し53人が出席。5人のあすのばの若者たちと小倉将信・こども政策担当大臣、田村憲久・子どもの貧困対策推進議員連盟会長はじめ与野党の国会議員と車座で対話



沖縄・南風原 年中無休の子どもの居場所

□「南風原子ども元気room」 <https://ogaoga.ti-da.net/e11941273.html>

- ・南風原町の委託で支援が必要な子どもの居場所を提供。
- ・対象は、主に小学生だがきょうだいに未就学児がいる場合、受け入れ。
- ・平日は、放課後から最大22時まで。土日、祝日も運営。
- ・長期休暇を含め、学校が休みの日は朝9時から開所。
- ・「宿題」、「課外活動」、「調理体験」を主とし、入浴も可。
- ・夜間利用の場合は、夕食も提供。
- ・送迎を一人ひとり行い、家庭状況を把握し、保護者との繋がりを強化。
- ・行政や学校、その他関係機関と連携し、総合的な支援を行っている。

→ 困難を抱える子どもの「デイケアセンター」が各地に必要



高齢者などの介護支援と同様なこども支援制度の確立へ

支援の 必要性	こども支援	高齢者など 介護支援	支援の あり方
低	こども食堂など	集会所の サロンなど	共助
中	こども版デイケア センターなど	デイケア センターなど	公助
高	児童養護 施設など	特別養護 老人ホームなど	公助



アフターコロナでめざすべき社会は？

社会全体で子育てする社会を！

“US NOVA”つくろう！

子どもの貧困対策センター 公益財団法人 あすのば

〒107-0052 東京都港区赤坂3-21-6河村ビル6F

TEL:03-6277-8199 FAX:03-6277-8519

E-mail:ogawa.k@usnova.org

WEB:www.usnova.org

